



かわまた 議会だより

Main Contents 議会の流れ (P2-3) / 12月議会 (P4-7) / まちれぽ (P15) etc...



色とりどりに
団子さし

福 沢
たのしい教室

もっと知ってほしい議会のこと
誌面でつながる町議会



町議会HPはこちら

知 議 会 の 流 れ

知っているようで知らない

議決 ギケツ ー ってなに？

議 会の持つ議決権とは、議会の権限の中で最も本質的、基本的なものと言われる重要なもので、町長からの提案である議案に対して、議会としての意思（可決・否決等）を決めることです。町長には提案権や執行権がありますが、提案した議案について議会からの議決が得られなければ町長は執行することはできません。



知 っ て ほ し い ギ カ イ の こ と

町民の声が反映されるまで
みなさんは町議会の本会議をご覧になったことはありませんか？ 今はライブ中継や録画でもご覧いただけますが、ご覧になった方からは「身近な話が出ていておもしろかった」「初めて見て興味を持った」などの声をいただいている一方、「あまり質問や反対意見が出ていない」などの声もいただいています。
あまり知られていないのですが、議会では本会議までに複数の会議を経て、町への意見や質問等を繰り返して、町民の声が少しでも町の事業に反映されるよう取り組んでいます。
今回は、本会議で議案が議決されるまでの流れを紹介させていただきます。

議会と町の役割



使ってみよう!!

QR 意外と簡単 コード

議会改革の取組の一環として議会だよりでもQRコードを活用しています。一般質問の録画配信へつながるQRコードなどは前号から始めた取組であったため「どうやって視聴したらよいか分からなかった」などの声もいただいています。簡単にQRコードの使い方を掲載しますので、ぜひ、この議会だよりをきっかけにQRコードを活用してみてください!

《 簡単な使い方 》



1 START!!

カメラアプリを起動します。

2 QRコードにかざします。



3 表示されたURLをタップします。

※URLが表示されない場合はQRコード読取機能(アプリ)を追加する必要があります。



4 読み取った情報が表示されます。

GOAL!!

※今回ご紹介した方法は一例です。

議 案 が 議 決 さ れ る ま で

令和6年
12月5日
PICK UP!
12月11日

第5回 定例会の流れ

招 集 — 11月26日

町から議会定例会の招集について通知が出され、全議員に通知されます。



1

総務産業 厚生文教

常任委員会 — 11月27日



各常任委員会を開催し、町が提案を予定している議案の詳細について所管委員会ごとに説明を受け、質疑や意見等をします。

2

議会運営委員会 — 11月28日

議会運営委員会を開催し、町が提案を予定している全ての議案について説明を受け質疑を行うとともに、本会議の日程等を決定します。



3

全員協議会 — 11月28日



全議員で行う全員協議会において、あらためて町が提案を予定している全ての議案について説明を受け、質疑等を行います。

4

議

本 会 議

12月5日 ~ 12月11日

本会議初日に町が正式に議案を提案します。契約等の議案が初日に採決され、その後の日程で議員による一般質問や常任委員会による議案調査等が行われます。



決

本会議最終日 12月11日

以上のような慎重審議を経て、最終日に条例、予算等の議案が採決され、議員の多数決により初めて議案は議決されます。

Close up

クローズアップ

12月議会



12月議会では何が決まったのか？



令和6年第5回議会定例会は、12月5日から11日までの7日間の会期で開催されました。

一般会計の補正予算は約1億1千万円増額が提案され可決し、一般会計予算の総額は96億4381万8千円となりました。条例は犯罪被害者等支援条例や貸事業所の設置及び管理に関する条例、学生寮設置及び管理に関する条例などが提案され、それぞれ可決したほか、今回は、アルゼンチンコスキン市との姉妹都市協定の締結（令和6年12月19日締結）についても提案され可決しました。

コスキン事業費

コスキン・エン・ハポンを通じて交流のあるコスキン市（アルゼンチン）との姉妹都市協定の締結に向けた旅費（追加）と広告料等。



195万円

小・中学校に係る教育費

学校管理に係る光熱水費の増額のほか、令和7年度の教科書改訂に伴う教師用指導書の購入に係る費用。また、山木屋小学校の再開に係る諸費用等。



1,216万円

補正予算の主な事業は？

川高全国募集に向けた取組、町道補修 etc…

川俣高校魅力向上推進事業

川俣高校の全国生徒募集に向け、主に学生寮（壁沢住宅2号棟）の消耗品や食堂・厨房等の備品を整備するための費用等。



1,034万円

道路維持修繕事業費

夏の豪雨被害の多発により、今後の冬季雪害対応への費用の不足が見込まれるため、道路の維持修繕委託料を増加するもの。



550万円

【歳入】 犯罪被害者等見舞金等支給事業補助金

12月定例会において条例が制定された「川俣町犯罪被害者等支援条例」に基づく見舞金等の支給に対する県からの補助金。



55万円

【歳入】 原子力災害損害賠償金

原子力災害に関連し町から東京電力への賠償請求に対して支払われた賠償金。要求残額約11億2千万円は未払いとなっている。



1,975万円

12 月 定 例 会

議 案 の 審 議 結 果



今回の定例会で町から提案のあった議案は次の18件でした。それぞれの議案について審議が行われ、結果は記載の通りです。

議 案	件 名	審 議 結 果
第83号	福田地区第1仮置場原状回復・返還工事請負契約の一部変更について	可決（全会一致）
第84号	川俣町犯罪被害者等支援条例	可決（全会一致）
第85号	川俣町貸事業所の設置及び管理に関する条例	可決（全会一致）
第86号	川俣町学生寮設置及び管理に関する条例	可決（全会一致）
第87号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
第88号	川俣町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
第89号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第90号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第91号	川俣町移住・定住促進住宅管理条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第92号	川俣町町営住宅条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第93号	町道路線の認定について	可決（全会一致）
第94号	損害賠償の額の決定及び和解することについて	可決（全会一致）
第95号	姉妹都市協定の締結について	可決（全会一致）
第96号	専決処分の報告及びその承認について （専決第9号 令和6年度川俣町一般会計補正予算（第3号））	承認（全会一致）
第97号	令和6年度川俣町一般会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第98号	令和6年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第99号	令和6年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第100号	令和6年度川俣町水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）

陳 情 の 審 査 結 果



1件の陳情を常任委員会に付託し、審査を行いました。

受理番号	付託委員会	件 名	陳情者住所及び氏名	審査結果
6	厚生文教常任委員会	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	東京都新宿区西新宿3-3-13 西新宿水間ビル6階 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	趣旨採択

議員はどこに注目したか。

本会議での主な質疑応答

条例

●議案第86号

川俣町学生寮設置及び管理に関する条例

【概要】川俣高校の全国募集に関連し、学生寮の設置と管理について定める条例を制定するもの。

Q ①安全確保については警備保障会社ということだが、寮母等が必要ではないか。

A ①建物の構造や部屋数等を考慮し、今回の防犯体制としました。

②1つの階段の利用で対応できます。(教育次長)

(石河ルイ議員)

Q 定員6名を超えた場合の対応は。(高橋文雄議員)

A 今年度は6名以内の利用となる見込みであるため、今後は応募状況により検討します。(教育次長)

●議案第87号

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

【概要】議会議員の期末手当の改正のため、条例の一部を改正するもの。

討論【反対】

町民感情を考えれば改正は行うべきでないと考えるため反対する。

(石河ルイ議員)

●議案第88号

川俣町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

【概要】川俣町長等特別職の期末手当の改正のため、条例の一部を改正するもの。

討論【反対】

87号同様改正は行うべきでないと考えるため反対する。(石河ルイ議員)

補正予算

●議案第97号

一般会計の補正予算

【概要】※4〜5ページをご覧ください。

Q ①町有地売却収入2,298千円とあるが所在と面積は。

A ①町有地売却収入2,298千円とあるが所在と面積は。

②有害鳥獣対策事業費の報償費が減額されているが捕獲の実績は。

(高橋清美議員)

A ①鶴沢字学校前で面積は119・61㎡です。

(財政課長)

②現在の実績はイノシシ28頭、サル0頭です。当初487頭を見込んでいま

したが、捕獲数に合わせ減額するものです。

(農林振興課長)

Q 繰越明許費内の土木費、町道桜ヶ作・七曲線は以前も繰越したと思うが繰越の理由は。(石河ルイ議員)

A 七曲地区の県砂防ダム

整備事業の取付道路として利用していたものを、町道とし活用するため舗装工事を予定していましたが、県の側溝工事の遅れのため町分の施工について年度内の完了が見込めないためです。(建設水道課長)

議案採決表

議案	菅野 清一	新関 善三	高橋 清美	蓮沼 洋志	作田 善輝	石河 ルイ	山家 恵子	菅野 信一	高橋 文雄	藤原 正	藤野 圭史
議案第87号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
議案第88号 川俣町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○

○は賛成、×は反対（議長は採決に加わりません）

10名の議員がまちの課題を問う!

一般質問

Q & A

一般質問とは？

一般質問とは、議員が町政運営全般にわたり執行機関（町長等）に疑問点を質問し、答弁を求めるものです。一般質問により所信を問い、執行機関の

政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にする等により、結果として現行の政策を変更、是正させるなどの目的と効果があります。

詳細はぜひ動画をご覧ください ▶▶▶



たか はし ふみ お
高橋文雄 議員

消防団の現状について

Q 団員の募集方法と入団者増にならない原因は

A 団員の勧誘については、地区の実情を把握している分団ごとに行っています。また、町では県と共同での事業所訪問や広報誌に団員募集の記事を掲載し呼びかけしており、そのほかに県や消防協会から各分団に対して団員募集ポスター等を配付しています。入団者の増加とならない理由は、各家庭の事情や仕事の都合等で入団できない場合が多いと伺っています。団員の増加につながる対処として

は、今後も消防団幹部はじめ各分団団員の声かけにより、地区において消防団員の加入促進活動を広げていただきたいと考えています。町としては、団員の方々が堅実に各種消防活動が続けていることに対し報いることができるよう、町の広報手段の一層の活用、消防設備や資機材の充実、関係機関との連携により、魅力ある消防団の組織づくりを進め、団員の確保に努める考えです。

Q 総務省の標準報酬額に対して町の現状は

A 「総務省の標準報酬額は年額3万6,500円、出動手当として1日当たり8,000円となっているが、本町の現状は。」とのご質問です

が、現在、町の団員報酬は年額3万6,500円、出動手当は1回あたり2,200円です。

動画はこちら➡





かの きよ かず
菅野 清一 議員

その他の質問

- ・第6次振興計画と復興計画
- ・第5次追補と公共賠償の賠償金支払い

動画はこちら➡



東電福島第一原発廃炉の遅延

Q 廃炉計画が遅れているが廃炉は可能と思うか

A 福島第一原子力発電所の廃炉については、東京電力の廃炉措置等に向けた中長期ロードマップ（第1期から3期）により管理されており、同社は、燃料デブリ0.7グラムの試験的取り出しにより、ロードマップの第3期に移行したと説明をしていますが、廃炉作業

を進める上で多くの課題や困難性が存在しているものと認識しています。しかし、川俣町をはじめ福島県の真の復興のためには、廃炉を着実に進めなければならず、東京電力は責任を持って、できる限り早期に廃炉を完遂しなければならないと考えます。

Q 原発の再稼働等が計画されているがどう思うか

A 原発の過酷事故が発生した福島県においては、いまだ帰還困難区域が存在し、避難を余儀なくされている住民が多数いる中で、また、県内原発の廃炉を前提として取組が進められている中で、原発の再活用を図ることは、電力需要の増加対策や脱炭素電力の安定供給に

資するものであっても適正ではないと考えています。国においては、今後とも県内原発の廃炉を安全、着実に進めるとともに、原子力の活用については、本県の被った過酷な被害を忘れることなく、慎重に検討していくべきと考えます。



かの しん いち
菅野 信一 議員

その他の質問

- ・川俣高校の全国公募
- ・町内道路橋、トンネル及び水道の維持管理

動画はこちら➡



町の消防防災体制は

Q 消防団員のなり手不足対策は

A 団員の勧誘については、地区の実情を把握している分団ごとに行っています。また、町では県と共同での事業所訪問や広報誌に団員募集の記事を掲載し呼びかけしており、そのほかに県や消防協会から各分団に対して団員募集ポスター等を配付しています。入団者の増加とならない理由は、各家庭の事情や仕事の都合等で入団できない場合が多いと伺っています。団員の増加につながる対処として

は、今後も消防団幹部はじめ各分団団員の声かけにより、地区において消防団員の加入促進活動を広げていただきたいと考えています。町としては、団員の方々が堅実に各種消防活動が続けていることに對し報いることができるよう、町の広報手段の一層の活用、消防設備や資機材の充実、関係機関との連携により、魅力ある消防団の組織づくりを進め、団員の確保に努める考えです。

Q 消防団員定数見直しと分団再編の協議は

A 現在、定数の見直しや再編について具体的な協議は実施していませんが、町の人口が減少する状況において、将来にわたり町消防団

組織を維持していくためには、再編等に係る協議が必要であると認識しています。



やま が けい こ

山家恵子 議員

その他の質問

- ・軟骨伝導イヤホンの活用

動画はこちら➡



高齢者の足・デマンドタクシー

Q 利用状況から現状の評価と課題は

A 現状の評価は、令和5年度に実施したデマンドタクシーの利用者アンケートの結果から、74.1%の方に満足をいただいております。定期的な利用をしている方も多く、町民の皆さんの生活交通の重要な手段となっていると考えています。

しかし、利用者の増加が図られていないこと、増便やダイヤの変更を希望する意見があること、利用してみたいがまだ利用したことがないという方もいることから、利便性の向上や利用促進について課題が残されていると考えています。

Q 免許自主返納支援事業のデマンドタクシー利用状況は

A 町は高齢者の交通事故を抑止し、公共交通の利用促進を図るため、運転免許証を自主返納した満65歳以上の方を対象とし、令和2年10月から高齢者運転免許自主返納支援事業に取り組み、申請によりデマンド型乗合タクシー利用券を交付しています。令和2年度の事業開始から本年10月まで

に196名の方から申請を受けており、利用については令和2年度が79回、3年度が310回、4年度が385回、5年度が421回、6年度は10月末時点で266回となっており、累計で1,461回の利用があり、交付数に対する利用の割合は14.9%となっています。



さく た よし てる

作田善輝 議員

その他の質問

- ・本町の財政実態
- ・歴史・文化・芸術を守り育てるまちづくり

動画はこちら➡



本町合併70周年への姿勢と取組は

Q 合併70周年の町の歩みをどのように捉えているか

A 川俣町は昭和30年3月1日に1町7か村が合併し誕生しました。合併後、織物業の不況、国鉄川俣線の廃止がありましたが、徐々にものづくり産業が盛んになりました。現在は野菜作物、アンスリウム、トルコギキョウなどの花卉栽培も盛んになり、川俣シャモも

全国的に認知されています。平成23年に東日本大震災が発災し、現在も復興に取り組んでいますが、町は色々な苦境に立たされながらも、新たな道を模索し続け町の発展を図ってきました。これは多くの先人の努力によるもので、心より敬意と感謝を表します。

Q この節目にどのような取組を考えているか

A まず70周年という節目を迎える中で、現在までに各種の施策に取り組んできた町の歩みを振り返りながら、改めて町振興計画を基本とした将来の持続可能なまちづくりを実現するため、各種施策に取り組んでいく考えです。また、本町ではこれまで合併10周年ご

とに記念式典を行っており、平成17年には合併50周年式典、そして28年には役場庁舎の開庁と合わせて合併60周年の式典を行いました。このことから、節目となる来年度、開催の時期や内容の検討を進め、合併70周年の式典を開催したいと考えています。



ふじ わら ただし
藤原 正 議員

川高全国募集に伴う魅力化向上施策

Q 全国募集に向けどのような支援体制を整えるのか

A 今年6月の全国生徒募集の決定を受け、町は、川俣高校と連携し、「地域みらい留学」の活用、紹介動画やパンフレット等の作成、川俣町フェンシング大会時の説明会実施など、周知活動を進めてきました。また、学生寮の設置やホームステイ先の募集など、川俣高校

の全国生徒募集に係る生徒の受入れ体制の整備を進めてきました。今後は、生徒が安心して生活し、充実した高校生活を送ることができるよう、生活サポーターや教育魅力化コーディネーターの採用など、学校との連携を深め支援体制を整えます。

Q 生徒の進路に対するフォローアップ体制は

A 川俣高校には、全国生徒募集の開始を契機として、小・中学校とともに、一人ひとりにしっかりとした学力と技能を身につけることができる学び舎になってほしいと考えています。川俣高校への関わりについては、これまでも、町が連携している近畿大学や立命館大

学による出前ゼミ等を開催していただいています。また、町内企業の協力のもと、モノづくり体験や町主催の企業説明会を実施していますが、今後も、川俣高校生が進学や就職への自己実現が図ることができるよう、強く川俣高校を支援します。

動画はこちら➡



はす めま ひろ し
蓮沼洋志 議員

自主防災組織の推進は

Q 各地で災害が多発、早急な対応が必要ではないか

A 近年、全国各地において発生している災害状況を鑑みますと、地域コミュニティを軸とした自主的な防災組織の必要性が高まっていると感じているところです。町と

しては、今年度から実施している自主防災組織支援事業補助金の活用も含めて、地域の自主的な防災組織の必要性について周知していく考えです。

Q 災害時に限らず要支援者の見守りはどう考えるか

A 11月1日現在の本町の高齢者数は5,121人で、高齢化率44.71%となっています。町は、民生委員の活動として、高齢の一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯の方等について、福祉票の作成に協力いただき、状況の把握を行うとともに、必要に応じて訪問するなど、見守りの支援活動等を行っています。今後も、特に要支援者をはじめ、高齢者一人暮らし世帯や高齢者の

みの世帯の方々には、身近な地域の方々と連携を図り、きめ細かな見守り活動を行っていく考えです。



その他の質問

- ・不登校児童・生徒の増加
- ・交通事故防止と道交法改正

動画はこちら➡





たか はし きよ み
高橋清美 議員

その他の質問

- ・町の防災
- ・町長の進退

動画はこちら➡



川俣高等学校の全国生徒募集

Q 全国生徒募集決定後の町の対応は

A 川俣高校の県内外のどこからでも受験可能な入試制度、いわゆる全国生徒募集については、福島県教育委員会が6月に決定したところです。全国生徒募集が決定されたことを受け、町では、川俣高校と連携して、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが主催する地域みらい留学を活用した

り、紹介動画やパンフレットなどの作成、川俣町フェンシング大会時に説明会を実施するなどして、その周知活動を進めてきました。また、学生寮の設置やホームステイ先の募集など、川俣高校の全国生徒募集に係る生徒の受入れ体制の整備を進めてきたところです。

Q 川高魅力向上に関する要望書に対する町の考えは

A 10月に、川俣町長と教育長宛てに提出された要望書に関する質問と思いますが、これは、川俣高校PTAが保護者を対象として、川俣高校魅力向上のためのアンケートを行い、その結果から町行政への支援内容をまとめたもの

であり、懇談を通して、直接、説明を受けました。今後、保護者からの要望内容であることを踏まえ、川俣高校の魅力向上につながる内容につきましては、十分検討していきます。



ふじ の けい じ
藤野圭史 議員

その他の質問

- ・ホームページ・SNSの活用
- ・コロナワクチン接種状況
- ・ふるさと納税

動画はこちら➡



川俣町のPR活動は

Q 町の観光資源はどのように捉えているか

A 富士山に見える北限の山である花塚山をはじめとする里山、川俣シャモや昔ながらの菓子類、山木屋在来そばである高原の宇宙などの食、また体験農園や織物、染物などの体験やシャモまつりやコスキン、からりこフェスタなどのイ

ベント、さらには前田遺跡や春日神社の白澤、古関裕而氏とのゆかり、川俣シルクなどの歴史や文化など、本町は誇るべき多くのコンテンツを保有しているものと考えています。

Q 今後の計画はどのように考えているか

A 観光を本町の振興につなげるため、関係人口・交流人口を増やすだけでなく、訪れていただいた方に町内を周遊してもらうなど、いかに町内での消費につなげられるかが重要と考えます。本町の誇るべき多くのコンテンツについても、単独では十分な効果を発揮することは難しく、国・県の事業との連携、ポイント

還元事業やDXを活用した事業など、観光客に繰り返し何度も本町を訪れていただくための仕掛けづくりを行うとともに、様々な団体や機関との連携を進めるなど推進体制を強化しつつ、地域振興や町内経済の活性化、さらには交流人口の増加や移住・定住の促進につなげることが重要であると考えます。



いし かわ
石河 ルイ 議員

その他の質問

- ・マイナ免許証とマイナ保険証
- ・米不足の抜本的対策
- ・地方創生の反省
- ・パートナーシップ制度

動画はこちら➡



物価高騰から命と暮らしを守る取組

Q プレミアム商品券の配布などに取り組む考えは

A 11月22日に閣議決定された国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金において、新たに低所得世帯支援枠と物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するための重点支援地方交付金を追加する旨が盛り込まれました。この重点支援交付金では、生活者支援と事業者支援を設けており、生活

者支援の中の消費下支え等を通じた生活者支援の推奨事業として、国では、プレミアム商品券やマイナポイント等の発行による支援策を例示しています。町はこれまで購入型のプレミアム付商品券や配付型の商品券、ポイント還元型の事業を実施してきましたが、負担の有無や使用率、経済への波及効果などを勘案し、効果的な事業を検討します。

Q 福祉灯油の実現に向けての考えは

A 町では、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に対する支援策として、令和5年度から令和6年度にかけて、低所得者層を対象とした支援給付金の現金給付を国の物

価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源に実施してきました。今後の物価高騰等に対する支援については、国の動向等を踏まえ、検討します。

活 動 報 告

議員は議会の他にどんな活動をしているの？
10月～12月の主な活動をお知らせします。

10
月

- 3日 伊達地方衛生処理組合県外視察
(4日まで)
- 栃木県益子町議会視察来庁
- 6日 川俣町芸能祭（議長）
- 7日 福島県町村議会議長会理事・監事合同会議（議長）
- 8日 議会運営委員会所管事務調査
(10日まで)
- 12日 コスキン・エン・ハポン2024開会式
- 15日 広報編集常任委員会
- 17日 厚生文教常任委員会、全員協議会
- 23日 伊達地方消防組合議会定例会
- 25日 町村議会議員研修会
- 26日 ふくしま三大鶏フェス（議長）
- 29日 川俣方部衛生処理組合議会定例会
- 30日 第1回地方自治研究交流セミナー

11
月

- 2日 町文化祭、発明・くふう展表彰式（議長）
- 3日 川俣町消防団秋季検閲
- 6日 予算決算常任委員会所管事務調査
(8日まで)

12
月

- 13日 町村議会議長全国大会（議長）
- 14日 全員協議会
- 16日 県北地方防災訓練
- 24日 川俣町女性大会
- 27日 町表彰式
総務産業常任委員会、厚生文教常任委員会
- 28日 議会運営委員会、全員協議会
- 29日 パリ・オリンピックフェンシングメダリスト講演会
- 4日 川俣シャモファーム県農業賞受賞祝賀会
- 7日 認定こども園保育発表会
- 16日 第2回地方自治研究交流セミナー
- 17日 医療懇談会
- 19日 伊達地方衛生処理組合議会臨時会
コスキン市との姉妹都市協定調印式
- 20日 議会運営委員会
- 24日 伊達地方消防組合議会臨時会
- 25日 伊達郡町村議会議長会合同会議

12月5日～11日は第5回議会定例会開催



所管事務調査の報告

－ 県立高校全国生徒募集の先進地を調査 －

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会は、令和6年11月7日、広島県立加計高等学校と広島県安芸太田町において所管事務調査を行いました。

加 計高校は生徒を全国から募集しており、令和6年度は生徒の約4割が県外から来ています。国際交流の推進、地域活動への積極的な取組、学生寮があることから、志願倍率県内1位を獲得しています。過去に統廃合の危機に直面しましたが、行政と地域の協力もあり、長い年月をかけ現在に至ります。川俣高校においても高校と行政、そして地域の連携をさらに密にしていく必要があると再確認しました。



広島県加計高校において

安 芸太田町では加計高校との地域連携教育について調査を行いました。県立高と町行政の壁を越えた連携を行っており、資金面では毎年4,000万円程度が町から支援されています。内容は、町が主体の無料の公営塾にかかる人件費や、生徒の課題発見・解決する力を育成するためのコーディネーターの配置、寮の運営費等です。学生寮は、交付金等を活用して町が整備したと伺いました。



学生寮の視察の様子

－ 開かれた議会へ向け議会改革の取組を調査 －

議会運営委員会



美咲町議会において

議会運営委員会は、令和6年10月8日、岡山県美咲町議会において、10月9日、岡山県井原市議会において所管事務調査を行いました。

美 咲町議会の特徴的な取組として、出前議会やタブレット端末を活用したペーパーレス会議が挙げられます。出前議会は10人程度の少人数で実施することで以前より前向きな意見交換が行われています。また、すでに完全ペーパーレスの会議を行っており、紙は使わないという強い意志が必要とのアドバイスをいただきました。



井原市議会において

井 原市議会では、市民の声を聴く会や議会への提案箱設置など、開かれた議会に力を入れています。市民の声を聴く会は、令和3年度から手挙げ方式による開催に変更し開催数が減りましたが、補完的な取組として、今年度から青空懇談会を行い、市のイベント等の際に議会のブースを設置、議会に対する要望などの聞き取りを行っています。また、議会への提案箱が公共施設24か所に設置され、議員が回収等を行い、議長名で回答しているとのことでした。

議員が町の『いま』を取材してお伝えします！

TOWN まちねぽ No.14 REPORT

第14回

薬膳カフェ BONCHI TARO

住 所：鉄炮町33 Hanzawaプラザ第一1号室

代 表 者：ファンコーニ・マイケルさん

ファンコーニ・菜美子さん

営業時間：11時～18時（水曜日定休）

連 絡 先：Tel024-563-1222



開店の きっかけは？

神奈川県茅ヶ崎市に住んでいましたが、せわしない日常が自分たちには合わないと感じ移住先を探していたところ、たまたまネットで川俣町を発見。試しに来町すると、自然豊かな川俣町が一目で好きになり、令和5年7月に移住。気軽にみんなが集える場所を増やしたいとの思いで昨年10月に薬膳カフェを開店しました。



どんな お店ですか？

お二人の好きな薬膳を誰もが気軽に取り入れられるカフェを目指しているとのこと。おススメの薬膳がゆやコーヒーのほか、トーストセット、マフィンセットなどのメニューがあります。

今後の 展望は？

オープンから3か月が経ち、様々なお客さんの来店があるそうです。これからも、みんなが気軽に集い、新しいつながりが生まれていくような空間を提供していきたいとのことでした。

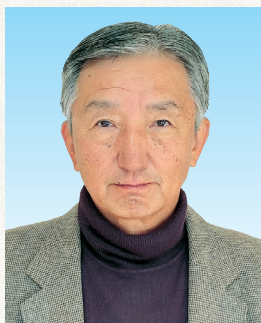


高橋 道也 議長

取 材 し た 議 員 か ら ひ と 言

町の自然や人のあたたかさに魅力を感じ移住したというお二人。お話を伺いながら、川俣町の魅力について考えさせられました。私たちが当たり前のように感じている部分にこそ、町の魅力は潜んでいるのかもしれない。カリフォルニア生まれのマイケル

さんと千葉県生まれの菜美子さんが出会い川俣町で薬膳がゆの店を出している。ふしぎな縁を感じました。私も色々な人との出会いで今の自分があるとあらためて感じました。これからも出会いを大事にしていこうと思うレポートでした。



voice 町民の声

故郷に山河あり

川原田 佐藤 尚 広 さん

私は川俣高校を卒業して町を離れ、都会で生活をしていましたが、定年を機に町に帰って来ました。帰郷して思う事は「故郷に山河あり」です。原発事故という忌まわしい事態が起りましたが、昔と変わらぬ故郷の山々や自然を毎日眺めているとそれだけで心が癒されます。また、近所の皆さんも実に温かな方が多く、道路は渋滞なし、医療機関やコンビニも近くにあり日常生活に困る事はなく実に住み心地が良いです。確かに、少子高齢化による過疎化などは極めて深刻な状況ですが、これは日本全体の問題であり、町の努力だけで解決出来ない問題と思います。私の好きな言葉に「変える事が出来る事は変える努力をしよう。変えられない事は合わせる努力をしよう。」というのがあります。あるがままに受け入れて暮らして行こうと思う今日この頃です。

帰郷して印象的だった事は、御霊神社の例大祭で若い人達を中心となり頑張っていた事です。本当に頼もしい限りです。また、町の認定こども園の収穫祭に招かれ大勢の子供たちと一緒に焼き芋や豚汁をご馳走になりました。無邪気な子供たちを見ていると心が洗われます。こういう若い人達や子供たちが「川俣っていいね。」と思ってくれる事を願うばかりです。

最後になりますが、議員のなり手が居ない自治体も有る中で、志を持ち立候補し当選した議員の皆様には頭が下がります。皆様の志にはそれぞれ違いがあるかもしれませんが、原点の「川俣町を良くしたい」という思いを議会で議論して頂き、これからの川俣町をよろしく願います。

◆広報編集常任委員会
委員長 菅野 清子
副委員長 山家 恵子
委員 菅野 圭史
委員 藤原 正一
委員 藤野 信也
委員 高橋 道也

山家 恵子 副委員長
これからの町民と行政のパイプ役として、皆様から寄せられる声を議会だよりに反映させていきたいと思っておりますので、気軽にご意見をお寄せください！
今年もどうぞよろしく願っています。

3

月議会傍聴のご案内

3月6日(木)～21日(金)は
3月定例会を予定しています。

みなさんの傍聴をお待ちしています。
議会ホームページから
ライブ中継、録画配信もご覧いただけます。

課題解決に向け交流セミナー

現在、川俣町議会は地域交流セミナーに参加しています。これは福島県町村議会議長会が地方議会の活性化を目的に主催しており、伊達郡町村議会議長会(会長：高橋道也議長)が開催を希望し、受講しているものです。第1回目は令和6年10月30日(会場：桑折町)「改正食料・農業・農村基本法について」、第2回目は12月16日(会場：国見町)「高齢者が安心して暮らせるまちづくり政策について」、第3回目は令和7年1月22日(会場：川俣町)「高齢者の公共交通対策について」をそれぞれ受講しました。今後もこのようなセミナー、研修会等には積極的に参加し、議員の資質向上に努めてまいります。



編集後記

1月6日、5年ぶりに新春交歓会が100名以上集まり、行われました。様々な意見交換や久しぶりの再会に笑顔があふれる時間となりました。巳年のスタート！実(巳)のりある広報づくりに、委員一同、清新な気持ちで取り組んでまいります。

以前、まちれぽで地域猫活動をしている団体を紹介させていただきましたが、町内で飼いのいない猫が増えていることを受け、これ以上の繁殖をストップするため、行政とボランティアの皆様、そして地域の協力のもと、1月中旬に、33匹もの猫を捕獲し一斉に避妊去勢手術がされたといううれしい報告がありました。